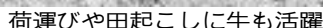


いろいろなことがあった、いろいろな人がつくってきた

現代農業 ベストセレクト集



昭和三〇年代に一世を風靡した片倉イナ作、田植機導入による不安定な稲作を克服した中期重点稲作、超低コストの井原豊さんの「への字型」稲作、そして合鴨、不耕起、米又力農法まで、農家はイネに学び、田んぼを豊かに利用する方法を深めてきました。そんな、農家が築いてきた技術のエキスをお届けします。

引き継ぎたい「農家の技術」を凝縮

昭和21年に復刊した『現代農業』（当時『農村文化』）は60周年。これを記念して、農文協ではこの3月、60年分の記事から選び抜いた記事選集（大型複製版）を発行します。

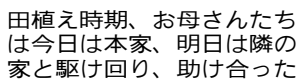
時代を4つにわけ、各時代ごとに、農家の思いや工夫、栽培技術、そしてむらづくりを描いた記事を中心に厳選。戦後農政の改革、そして代替わり時代に贈る、変わりつつ変わらない農家力、農村力を伝える1冊です。

「地産地消」をひらいた
農村女性の思いを伝える

引き売り、そして秋田県 った女性たちの活動が、「地
仁賀保の母ちゃんたちなど 産地消」という形で引き継
出稼ぎや兼業がすすむなか がれ、大きな動きをつくり
で「自給運動」に立ち上が だしました。

新しいむらづくりにむけて

農家の土地やむらへの思いも変わっていません。戦後復興期の村づくりやブラズα方式、複合経営方式など、近代化の中で小さい農



秋祭りで民謡を熱唱



本書の構成と記事例

戦後の復興のなかで

(昭和20年代～30年代前半 1950年代)

新しいふるさとをつくる引揚者たち・那須（昭24）

女手一つでバタリー養鶏(昭25)

村の経営改善 茨城県玉川村の改造計画（昭28）

水田酪農に成功した村・愛媛県富田村（昭28）

村の実態調査で村づくり・長野県大田村（昭30）

新しい演劇をつくる青年達・岩手県湯田村（昭28）

黒澤式、松田式、栄周農法を語る（昭24）

パートⅡ 農業近代化のなかで

(昭和30年代後半～40年代前半 60年代)

出稼ぎについて考える（昭39）

おれたちの構造改善事業・秋田金麓園（昭39）

多収穫イナ作の解剖・長野県新村地区（昭38）

イナ作 片倉権次郎とその弟子たち (昭39)

暖地イネ 不耕起直播で増収・福岡正信（昭40）

トマトの苗つくりの秘訣・小島重定（昭41）

ミカンの一本仕立て・内山清太郎（昭45）

農酪 本命の経営と技術・金子茂（昭38）

パートⅢ 近代化を見直す ①

むら・経営・暮らし

(昭和40年代後半)
70
80年代

複合経営を築く 宮城県・二階堂彦寿（昭48）

長生き村の秘密をさぐる・山梨県桐原(昭49)

借金を減らす！
子供のためにも（昭60）

嫁つこたちの共同畑・秋田県仁賀保（昭60）

嫁がつくり続ける本物の酒（昭60）

市販品に味でかつ農協の自給運動・花巻市（昭61）

嫁さんに二〇万円の給料を・小沢禎一郎（昭61）

むらを
引き継ぐ代替わり時代に贈る
むら・経営・技術・暮らしの60年親世代の苦勞と
思いがわかる

これから農業を引き継ぐ農家が築いてきたこと、親という農家の団塊世代にとっては、勤めに出ていた世代の苦勞と思いがわかる。1冊です。
間にむらで起こったこと

60周年記念号

『現代農業 ベストセレクト集』

「別冊 現代農業」 4月号 3月初旬発行

大判 (B5判)

544頁

予価1500円



正月に一時帰ってきた出稼ぎ農民

写真・橋本紘二 本セレクト集では、長い間、本誌のグラビアを撮影してきた橋本さんの懐かしい写真へ一挙に紹介します。

『現代農業』の歩み

昭和21年 復刊当初の「現代農業」



(当時「農村文化」)
五月号では「農村民主主義」の特集。「農民に役立つ文化運動」を模索しながら、農村の読書運動を推進していった。

昭和24年 直接普及方式を開始



農家を巡回し意見を聞き、購読をすすめる直接普及方式を開始。農家の求めるものは文化評論ではなく、「農業技術と経営」であることがわかり、編集内容は大きく変わった。

昭和35年 「現代農業」に改題



当時、「日本農業は曲がり角」が流行語になっていた。61年「農業基本法」施行。コメ軽視の風潮のなか、山形の稲作農家・片倉権次郎さんの増収技術が大きな反響を呼んだ。

昭和44年 大幅増ページ



366ページに。本文・グラビア頁を倍増し、カラー口絵を設け、生活・農政ページを大幅に拡大した。農業技術・経営誌から家族の誰かが読める総合誌へと変わった。

平成9年 全面カラー化へ



巻頭特集は「天敵生かして小力防除」。「現代農業」は、自然の力を生かし、高齢者や女性も楽しくでき、農村空間が豊かになる農家の「小力技術」を積極的に紹介している。

パートⅣ 近代化を見直す②

農家の技術

坪三六株 疎植のイネづくり・千葉県(昭47)

単肥深水イナ作・中越イナ研(昭56)

への字稲作の真髓・井原豊(昭64)

減農薬稲作3カ条・八尋幸隆(昭62)

井原豊のチャレンジ小麦6石どり(昭59)

野菜 ヤロビ処理で多収(昭47)

注目の微生物農法・ナス一〇〇〇個どり(昭48)

施肥改善 北海道富良野タマネギ(昭56)

自然農薬、自然流防除・古賀綱之(昭61)

捨てた技術に宝があった「灰」・水口文夫(昭64)

おらが村の原木ナメコ(昭50)

リンゴの夏季剪定・永沢鶴松(昭46)

広がるナシの長果枝栽培・茨城県(昭53)

青空養鶏 鶏を鍛える・高橋広治(昭46)

今評判の豚・昼間お産させる法(昭54)

和牛 片岡さんの子牛仕付け法(昭53)

パートⅤ 地域とともに、

都市民も巻き込んで

(平成元年)現在 1990年代)現在

元気のぞる米流通 山口県JAくぼく

せまち直し 高知・大豊町(平成11)

直売所はもうすぐ千人 JA甘楽富岡(平成12)

アイカモ水稻同時作・古野隆雄(平成2)

注目のイネ不耕起栽培・新海秀次(平成3)

偶然に発見、米又力農法・佐々木義明(平成9)

土着園で楽しく安くうまい米 藤田忠内(平成10)

強力パワーの土着園ボカシ肥・松沼憲治(平成7)

混植・混作の威力(平成6)

自慢のミカン 夏肥で完熟・和歌山(平成6)

養豚 土着菌利用(平成9)

むらを引き継ぐ

住民みんなで「新政策」に対応 むらの田畑と自然を次代に残す



別冊 現代農業

「月刊」の記事を凝縮！農家の知恵が詰まっている

不定期刊行 定価1200円 B5判

何十年にも及ぶ膨大な「現代農業」から、評判の良かった記事を選び出し、一

冊丸ごと二テーマで編集。最新刊は『農家が教えるどぶろくのつくり方』。農家ならではのつくり方を、その暮らしぶりとともに紹介、ビール、ワイン、焼酎、麹つくりも収録。大評判で「どぶろくブーム再来か。また、家庭菜園の技術をとん活用読本



『農家が教える家庭菜園』(秋冬編・春夏編)も好評。『既刊』
堆肥 とこん活用読本
農家の技術 早わかり事典
鳥害・獣害 こうして防ぐ
ボカシ肥・発酵肥料 とこん活用読本



イネの有機栽培

米ぬか とこん活用読本
炭 とこん活用読本
木酢・竹酢・モミ酢 とこん活用読本
《近刊》
体がよくなる健康術(二月下旬発行)

★全員参加の話し合い、合意形成の素材に

集落営農支援シリーズ 事例編

VHS 全4巻 各8000円、揃価32000円
DVD 全1枚 32000円(ビデオ4巻分を収録)

企画・JA全中、監修・楠本雅弘(山形大学)、制作・農文協、全農映
「品目横断的経営安定対策」の材料」を提供。

★全4巻 各20〜25分、計100分程

① 集落営農先進地からのメッセージ

【1集落1農場型】富山県黒部市・寺坪生産組合

② 農地とムラを守る未来創造法人

【法人委託型】福島県昭和村・旬グリーンファーム

③ 大型農家が元気になる集落営農戦略

【1集落1農場型】北海道中富良野町・中富良野地域水田農業推進協議会、(農)グリーンウェーブ西仲

④ 地域で育てる広域型担い手法人

【法人委託型】長野県JA上伊那・伊那市美郷地区営農組合、滋賀県野洲市・柳グリーンちゅうず

「農地・水・環境保全向上対策」支援シリーズ①共同活動編

まずはみんなで話し合おう！

VHS・DVD 20分●8000円

企画・農文協、制作・全農の維持・発展に活用するこ映、協力・農林水産省農村とを提案。農家・非農家、振興局農地・水・環境保全向上対策室
新制度を、水路の草刈りや清掃、補修にとまらず、住みよい集落づくり、むら方を展望する。



混住化地区・全員参加の共同活動〈基礎活動+景観保全〉草刈り、泥上げに景観植物の植付けを加え、農家の理解と参加を得る。

地域営農支援ビデオシリーズ

21世紀型地域営農挑戦シリーズ

全6巻 VHS・DVD 各30〜35分 揃30000円

新しい水田活用産地づくりシリーズ

全3巻 VHS・DVD 各25分 揃15000円

ビジョンに魂を！

全1巻 VHS・DVD 30分 5000円

つくる・うる・こだわりへの挑戦

―販売事業強化こそJAの命―
全1巻 VHS・DVD 30分 5000円